## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府・堺市		地域文化遺産活性化			
3 実施計画の名称	堺市地域文化遺	<b>建</b> 產活用活作	生化実施	計画		
4 実施計画期間	平成 23	年度	~	平成	33	年度

#### 5 実施計画の概要

「市民と創る歴史文化のまち堺」を基本コンセプトとする、自由都市堺文化芸術推進計画(平成28年3月策定)で掲げた施策の体系に則ると同時に、これまで守り育まれてきた歴史的風致の維持及び向上に向け取り組む「堺市歴史的風致維持向上計画」(平成25年11月22日策定)をふまえて、堺市固有の歴史や文化資源を活用した以下の事業を実施する。特に伝統文化継承基盤整備事業では、継承者の養成に継続性が必要であるとともに本市の場合市域が広く対象になる伝統文化も数多いことから、事業の検証を行いながら継続した計画性の推進が必要である。本計画に基づく事業の実施により、市民への文化財保護意識の啓発、地域に対する愛着の醸成、伝統芸能・行事・技術の保存伝承による地域の活性化、伝統芸能・行事・技術を伝承する団体・市民への支援などの効果を通じて、伝統文化を将来にわたって確実に継承し発展させる。合わせて、これらの事業を通じて、伝統文化を支える人材を育成するとともに次世代を担う子どもたちが歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を涵養す

- 1. 地域の文化遺産次世代継承
- (1) 普及啓発事業
- ①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業(平成24年度~33年度)
- (2)調査研究事業
- ②美多彌神社流鏑馬を中心とした和田地区(現在の美木多地区)調査研究事業
- (平成26年度~33年度) ③大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通調査研究事業(平成26年度~30年度)
- 2. 伝統文化継承基盤整備
- (1) 記録作成事業
- ④美多彌神社流鏑馬記録作成事業(平成29年度~33年度)
- ⑤津久野地域伝統文化記録作成事業 (平成29年度~33年度)
- (2)後継者養成
- ⑥国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり後継者養成事業 (平成23年度~33年度)
- ⑦船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業(平成23年度~33年度)
- ⑧美多彌神社流鏑馬後継者養成事業 (平成25年度~33年度)
- ⑨大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業(平成24年度~33年度)
- ⑩開口神社八朔祭後継者養成事業(平成29年度~33年度)
- (3) 用具等整備事業
- ⑪国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり用具等整備事業(平成23年度~33年度)
- ②船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業 (平成23年度~33年度)
- ③美多彌神社流鏑馬用具等整備事業(平成25年度~33年度)
- ④開口神社八朔祭用具等整備事業(平成28年度~33年度)
- ⑤津久野地域伝統文化用具等整備事業(平成29年度~33年度)
- ※『自由都市堺文化芸術推進計画』はURL
- (http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/bunka\_jorei/bunkageijyutusuishinkeikaku.html) ・ 『堺市歴史的風致維持向上計画』はURL

(http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/bunkazai/bunkazai/rekimachi/rekimachi nintei.html) を参照。

#### 6 実施体制

堺市が、本実施計画に係る全体の企画、調整や、各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は以下のとおり

- ・文化観光局文化部文化財課: 各補助事業における指導、調整等
- また、補助事業は堺市地域文化遺産活性化実行委員会及び実行委員会に組織された次の団体が実施する。
- ・堺市地域文化遺産活性化実行委員会(委員長:大丸 一)
- ・構成団体(堺こおどり保存会、船待神社神楽子供獅子保存会、美多彌神社流鏑馬保存会、堺式手織緞通技術保存協会、開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会、津久野地域伝統文化保存継承実行委員会)

7 実施計画における	目標と期待される効	果	別紙①のとおり								
8 補助事業の概要	(1)補助金額	~平成28年度交付決	<b>央定額</b> : 72,535 =	千円	平成29年度申請額:	12,263 千円					
	(2) 実施事業の概要	域の文化遺産に		度・意	文化継承基盤整備事 意識を向上し、文化 氏②参照)						

## 9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

本事業を実施することにより、より正確に伝統文化を伝承することができ、市民の地域の文化遺産に対する関心や認知度・意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携、協力体制が構築されるとともに、世代を超えた連携がすすむことが期待できる。さらに平成32年計画「市マスタープラン」で目標としている堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができることができるとされる割合90%に高め、観光ビジター数1400万人の増加に寄与することができる。

#### ◆地域文化遺産活性化事業

#### 1. 地域の文化遺産次世代継承事業

### (1) 普及啓発事業

①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業(実行委員会)

ワークショップ事業を実施することにより、今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が 上昇し、市民が地域の文化遺産を再発見し、自らの地域を活性化していこうという意識醸成につながる⇒事業参加 者アンケート等で検証

#### (2)調査研究事業

②美多彌神社流鏑馬を中心とした和田地区(現在の美木多地区)調査研究事業(美多彌神社流鏑馬保存会) 流鏑馬を中心とした地域の伝統文化に関する中世・近世の資料についての記録作成、調査研究を有識者の助言を得 ながら地域の人々が自らおこなうことによって、伝統文化をより正確な形で伝承することができ、地域住民の意識 が高まる。

③大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通調査研究事業(堺式手織緞通技術保存協会・堺市堺市地域文化遺産活性化実行委員会)

堺の古緞通及び緞通技術に関する資料の調査及をおこなうことによって、現在は途絶えてしまっている堺緞通最盛期である明治〜大正時代の技術のあり方を知ることができ、伝統技術としての堺緞通の伝承をよりいっそう進めることができる。また報告書作成及び有識者検討会をおこなうことにより、これまで蓄積してきた記録について、適切に有識者の知見を反映させながら公開することができる

## 2. 伝統文化継承基盤整備事業

## (1) 記録作成事業

④美多彌神社流鏑馬記録作成事業 (美多彌神社流鏑馬保存会)

美多彌神社流鏑馬の継承用記録映像を作成し、後継者養成事業として実施される講習などで活用することで、後継者養成につなげる。また、普及版映像を作成して講演会や流鏑馬行事で活用し、HPなどで動画をアップすることで、伝統文化と祭礼行事についての理解を深めることができる。

⑤津久野地域伝統文化記録作成事業(津久野地域伝統文化保存継承実行委員会)

踞尾八幡神社例大祭(だんじり祭り)に使用される宮山地区のだんじりの修理過程及び、秋祭りにおけるだんじり 曳行、だんじり囃子などの記録を作成し、活用公開することで、地域の人々の伝統文化に対する意識が向上すると 同時に、堺市内外から秋祭りを訪れる人々が増加し、地域活性化につながる。

#### (2) 後継者養成

⑥国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり後継者養成事業(堺こおどり保存会)

保存会会員を対象とした保存伝承講習会及び、指導者の相互の技術向上をはかる養成研修(予算計上なし)をおこなうことで、踊りや歌の継承に関する伝承者の意識が高まる。

⑦船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業(船待神社神楽子供獅子保存会)

お囃子の笛や太鼓を生演奏でおこなうための講習を実施することで、演奏や演技に磨きがかかり、伝承者の意識向上につながる。まだ獅子踊りを卒業した中学生がお囃子を学ぶことで、伝承世代の断絶を防ぐことができる。

⑧美多彌神社流鏑馬後継者養成事業 (美多彌神社流鏑馬保存会)

後継者育成のための流鏑馬の講習や講習した成果を市民に披露することにより、地域における保存伝承を活性化すると同時に、流鏑馬に対する市民の理解を深め、次世代の後継者を拡大することができる。

⑨大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業(堺式手織緞通技術保存協会)

明治〜昭和初期の大型織機を使って後継者育成をおこない、講習会を市民に公開することで、堺緞通に対する市民の意識を高め、伝承者の養成につながる。

⑩開口神社八朔祭伝統文化後継者養成事業(開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会)

若手の保存会会員を対象にした講習会を実施することにより、伝統文化の正しい継承をはかることができる。また、後継者養成を通じて、堺旧市内の成り立ちにもかかわる伝統ある開口神社の最も重要な祭礼である八朔祭と宮 入するふとん太鼓の価値についての理解が深まることで、市民の伝統文化継承の意識が高まる。

## (3) 用具等整備

⑪国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり用具等整備事業 (堺こおどり保存会)

傷みが激しく不足している用具(外踊り用一文字笠・頭台・音頭取り用おけさ笠・外踊り用履物)を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、より良い状態で伝統文化の伝承をすすめることができ、祭礼行事への住民の参加者増加にもつながる。

⑩船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業(船待神社神楽子供獅子保存会)

数が不足している用具(お囃子用衣装・子供獅子頭・踊り手の手甲)を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、伝承者の意識が高まり、芸能の質も向上する。それによって、祭礼行事へ参加する住民の数の増加につながる。

⑬美多彌神社流鏑馬用具等整備事業(美多彌神社流鏑馬保存会)

流鏑馬の後継者養成及び行事の催行のために欠かせない流鏑馬衣装の一つである流鏑馬用水干を、有識者の指導の もと、伝統的な仕様に則り新調をおこなうことにより、伝統文化に対する意識が高まり、祭礼行事へ参加する住民 の数の増加につながる。

④開口神社八朔祭伝統文化保存伝承用具等整備事業(開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会)

これまで修復または新調することができずに、応急措置的に対応してきたふとん太鼓が、有識者の指導のもと伝統的な仕様に則って整備されることにより、ふとん太鼓の宮入をより適切におこなうことができる。またこの事業をきっかけに、開口神社の氏子区域である各地区の世代を超えた連携がすすみ、歴史を見つめなおす機会にもなる。

⑮津久野地域伝統文化保存伝承用具等整備事業 (津久野地域伝統文化保存継承実行委員会)

踞尾八幡神社の秋祭りにおけるだんじりについて、有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り修理がおこなわれる ことによって、秋祭りにおけるだんじり曳行をより安全におこなうことができる。またこの事業をきっかけに、踞 尾八幡神社の氏子区域である各地区の連携がすすみ、だんじり関係の事業ばかりでなく、他の伝統文化の再発見、 保存伝承につながる動きをつくることができる。

10 その他事業(自	主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)
事業概要:	
事業概要:	
事業概要:	
11 「歴史文化基本	構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等
	年間を計画期間とした『堺市歴史的風致維持向上計画』の認定を平成25年11月22日に受け、本 る評価を行い計画の質を担保しつつ、着実に実施している。
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課 堺市	文化観光局文化財部文化財課

# 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

							<i>'</i>	・ルビロ	「凹」〜0	317	ᄆᆥ	- 141 LAZ	C100	ツネ	加和
目標区分1:	地域の	文化資	資源を核	亥とした	ニコミ	ュニテ	ィの再生	ヒ・泪	5性化						
評価指標区分1:	地域に	誇りを	感じる	6住民の	割合						(具体	的な指	標は次の	のとお	39)
具体的な指標 1:	住民意じるこ				資源	や文化	資源を身	∤近に	感	234	3456789101112 131415				
目標値1:	平成	28	年度			42	(%)	⇒	平成	33	年度			90	(%)
設定根拠1:	アンケ	<u>ー</u> ト意	<b>爺調</b>	全により	算出	、堺市	マスター	ープラ	シ(市)	攻基本的	的戦略	プラン	)の目標	票と合	致
進捗状況1:					各	年度、	状況値、	目標	票に対す	「る達成	本				
平成 29 年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
(%)			(%)			(%)			(%)			(%)			(%)
目標区分2:	地域の	文化資	<b>子源を</b> 活	5用した	- 集客	<ul><li>交流</li></ul>									
評価指標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流 地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)														
具体的な指標2:	地域の文化遺産関係展示等を実施する市立町家資料館 の年間入館者数 <b>関連事業</b> :														
目標値2:	で発している。	八組石 27	· 年度		21,	067	(人)	⇒	平成	33	年度		24, 0	000	(人)
	毎年500	0人増	を目標												
	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
(人)			(人)			(人)			(人)			(人)			(人)
口無反ハウ		/L 0 (d)	v 3. /+·#	1044	· 12/2										
目標区分3: ———	伝統文	1四/2	<b>杜承仰</b> 市	刊の維持	于• 唯	7/.									
評価指標区分3:	祭礼行	事等の	)保存会	会員数	文、保	存団体	数 					的な指	標は次の	のとま	39) ———
具体的な指標3:	祭礼行	事等の	)保存会	会員数	及び	技術伝	承者数			関連事業: 45678910					
目標値3:	平成	28	年度	50.Z+			(人)	⇒	平成	33	年度			170	(人)
設定根拠3:				)、船符 5年15人			供獅子、	美多	多爾神社	二流鏑馬	5、開口	] 神社 <i>]</i>	、	椴連	1技術)
進捗状況3:					各	年度、	状況値、	目標	票に対す	る達成	來				
平成 29 年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
(人)			(人)			(人)			(人)			(人)			(人)
目標区分4:	地域の	文化資	資源を活	5用した	集客	<ul><li>交流</li></ul>				ı			<u>I</u>		
評価指標区分4:	地域の	祭礼行	「事等へ	への入込	各数						(具体	的な指	標は次の	のとま	34)
具体的な指標4:							、美多弱 域例大务			関連事	業:	(1)	)12(13(14	)(15(16)	
目標値4:	平成	28	年度		5,	650	(人)	⇒	平成	33	年度		10, 8	800	(人)
設定根拠4:	各地域	合計句	季年1,0	00人増	を目標	票									
進捗状況4:					各	年度、	状況値、	目標	票に対す	「る達成	这率				
平成 29 年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
(人)			(人)			(人)			(人)			(人)			(人)
										I					

## 8(2) 実施事業の概要 別紙

								\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
事業①: 堺の	伝統工芸・文	化遺産ワーク	ショップ事業	実施団体:	堺市地域	文化遺産活性	化実行委員	会			
事業区分:	普及啓発			事業期間:	平成 2	4 年度 ~	平成 33	年度			
事業概要:	民に広く普		、手描き鯉幟な 深めるため、町 :う								
評価指標区分:	・その他					(具体的な排	信標は次のと	:おり)			
具体的な指標:	ワークショ 理解を深め		ケートにおいて	、堺の伝統的	工芸技術を	はじめとする	る文化遺産に	こついて			
目標値:	平成 28	年度	79 (,	人) ⇒ 平	·成 33	年度	100	(人)			
進捗状況:			各年度、状	:況値、目標に	対する達成	<b>戊率</b>					
平成 29 年度	平成 30	年度 平成	31 年度	平成 32 年	度 平成	33 年度	平成 34	年度			
(人)		(人)	(人)	(,	人)	(人)		(人)			
<b>学</b> 夕	爾加芬法語用	わ由ふししも	上和田地区(現在	÷ 1							
	「		_和田地区(先任	実施団体:	美多彌神	社流鏑馬保存	·会 				
事業区分:	調査研究			事業期間:	平成 2	6 年度 ~	平成 33	年度			
事業概要:	・和田地区 資料の所在 ・調査研究 ・調査成果	初見が見られ (現在の美木 確認も続ける は、外部有識 は、地元での	る中世「和田文 (多地区)の所在 (記者の指導をあまれる) (記者の指導をあまれる) (報告会及び堺市 (記事で、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	確認ができていまながら、地間南区役所での	いる資料調 区住民も積 パネル展や	間査を実施する 質極的に参加し ご調査見学会、	ンて実施する 報告会なと	) 。			
評価指標区分:	(リストか	ら選択してく	ださい。)			(具体的な排	≦標は次のと	:おり)			
具体的な指標:	(具体的な	指標を記載し	てください。)								
目標値:	平成	年度	2	Z ⇒ म	·成 33	年度		名			
進捗状況:			各年度、状	兄値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30	年度 平成	31 年度	平成 32 年	度 平成	33 年度	平成 34	年度			
名		名	名	<u> </u>	名	名		名			
★★② 大阪	   	   俗文化財	    アの手織緞通調査	D#04		緞通技術保存	協会・堺市	地域文			
研究: 研究:	事業			美他団体:	化遺産活	性化実行委員	会				
事業区分: ———	調査研究			事業期間:	平成 2	.6 年度 <b>~</b> ————	平成 33 ————	年度			
事業概要:	指導を得な統文化の継	がら堺の古網 承に役立てる	送財「堺の手織網 対通及び緞通技術 ために報告書の が館で開催し、外	に関する資料 作成をおこな	調査をおこ う、報告書	なう。また、 Fの作成に際し	調査成果を	公広く伝			
評価指標区分:	(リストか	ら選択してく	ださい。)			(具体的な批	<b>信標は次のと</b>	:おり)			
具体的な指標:	(具体的な	指標を記載し	てください。)								
目標値:	平成	年度	(単	<b>(位)</b> ⇒ 平	·成 33	年度		(単位)			
進捗状況:			各年度、状	況値、目標に	対する達成	<b>艾率</b>					
平成 29 年度	平成 30	年度 平成	31 年度	平成 32 年	度平成	33 年度	平成 34	年度			
(単位	)	(単位)	(単位)	(単	4位)	(単位)		(単位)			

事業④:美多彌神社流鏑馬記録作成事業実施団体:美多彌神社流鏑馬保存会事業区分:記録作成事業期間:平成 29 年度 ~ 平継承用記録映像として過去に行われた美多彌神社流鏑馬の映像を編集作成し、当解を深め後継者育成・継承に活用する。またHPや動画共有サイトで情報を公開知らしめ流鏑馬への理解を深める。評価指標区分:・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等(具体的な指標具体的な指標:コンテンツの再生回数	該伝統文化を理										
事業概要: 継承用記録映像として過去に行われた美多彌神社流鏑馬の映像を編集作成し、当解を深め後継者育成・継承に活用する。またHPや動画共有サイトで情報を公開知らしめ流鏑馬への理解を深める。   評価指標区分: ・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等   (具体的な指標	該伝統文化を理し、広く活動を										
事業概要:解を深め後継者育成・継承に活用する。またHPや動画共有サイトで情報を公開知らしめ流鏑馬への理解を深める。 評価指標区分:・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等 (具体的な指標	し、広く活動を										
	は次のとおり)										
具体的な指標: コンテンツの再生回数											
目標値: 平成 28 年度 0 (回) ⇒ 平成 33 年度 1,00	00 (回)										
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率											
平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平	<sup>2</sup> 成 34 年度										
	(回 )										
事業⑤: 津久野地域伝統文化記録作成事業 実施団体: 津久野地域伝統文化保存総	実施団体: 津久野地域伝統文化保存継承実行委員会										
事業 <b>区分</b> : 記録作成 事業期間: 平成 29 年度 ~ 平	事業期間: 平成 29 年度 ~ 平成 33 年度										
津久野地域宮山地区のだんじりは新調後は過去に1回洗い・締め直しを行ってい 事業概要: しておらず、今回の修理・締め直しの過程を映像記録として残し、伝統文化の継 活かす。											
評価指標区分: ・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等 (具体的な指標	は次のとおり)										
具体的な指標: コンテンツの再生回数											
目標値: 平成 28 年度 0 (回) ⇒ 平成 33 年度 1,00	00 (回)										
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率											
平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平	<sup>2</sup> 成 34 年度										
(回)     (回)     (回)	(回)										
事業⑥: 国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷の 実施団体: 堺こおどり保存会 こおどり後継者養成事業											
<b>事業区分</b> : 後継者養成 <b>事業期間</b> : 平成 23 年度 ~ 平	成 33 年度										
国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」の保存伝承をより一層 事業概要: 事業概要: 「はどりを伝承している鉢ヶ峯地区で、小中学生の保存会会員を対象にした保存 び、指導者の相互の技術向上をはかる養成研修(予算計上なし)をおこない、後 かると同時に、伝承者全体の意識向上をはかる。	云承講習会及										
<b>評価指標区分</b> : ・保存会会員数の変化(維持) (具体的な指標	は次のとおり)										
具体的な指標: 地域、年齢等限定された「上神谷のこおどり」伝承者としてのこどもの人数											
	(人)										
目標値: 平成 28 年度 18 (人) ⇒ 平成 33 年度 25											
目標値:    平成 28 年度    18 (人)    → 平成 33 年度    25      進捗状況:    各年度、状況値、目標に対する達成率											
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率	<sup>2</sup> 成 34 年度										
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率	<b>平成</b> 34 <b>年度</b> (人)										

事	業⑦:	船待神	神社神楽	子供	師子踊り	り後継者	<b>香養成</b>	事業		実施	団体	: 船	待神社	神楽子	·供獅子	保存会	:	
	事業	区分:	後継者	養成						事業	期間	: 平	成 2	3 年	度 ~	平成	33	年度
	事業	概要:						、お囃 対象に										
評	価指標	区分:	・保存	会会員	員数の変	変化 (維	推持)							(具体	本的な排	旨標は2	マのと	おり)
具	体的な	指標:	船待神	社神》	<b>終子供</b> 猴	師子保存	子会の	会員数	、特	に踊	り手の	数						
	目	標値:	平成	28	年度			30	(人)		⇒ •	平成	33	年度		40		(人)
	進捗	状況:					各	·年度、	状沉	记值、	目標に	こ対す	る達成	本				
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
		(人)			(人)			(人)				(人)			(人)			(人)
事	事業⑧: 美多彌神社流鏑馬後継者養成事業									実施	団体	: 美	多彌神	社流鏡	i馬保存	会		
	事業	区分:	後継者	養成						事業	期間	: 平	成 2	5 年	度 ~	平成	33	年度
流鏑馬の保存と伝承をより一層すすめ、泉北地域での後継者養成のために、地域の伝統をふつつ弓馬術礼法小笠原教場指導者を講師とした流鏑馬の技術講習会・流鏑馬木馬を使用したをおこない、後継者養成をはかる。また、平成30年3月17日には伝統行事としての美多彌神礼流鏑馬を実施し、行事への参加により、一層の技術向上をはかると同時に、後継者養成を下する地域の理解を深める。												た講習 申社の						
評	価指標	区分:	・保存	会会員	変化 (維	推持)							(具体	本的な排	旨標は2	マのと	おり)	
具体的な指標:美多彌神社流鏑馬保存会の会員数																		
	目	標値:	平成	28	年度			30	(人)		⇒ !	平成	33	年度		60		(人)
	進捗	状況:					各	·年度、	状沂	況値、目標に対する達成率								
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
		(人)			(人)			(人)				(人)			(人)			(人)
		I 1 1700						<b>かけっマノル</b>	A. I.									
事	業⑨ :	大阪 者養成	f指定無 え事業	形民任	谷文化原	r 堺 <i>0</i>	つ手織	緞通後	継	実施団体: 堺式手織緞通技術保存協会								
	事業	区分:	後継者	養成						事業	期間	: 平	成 2	3 年	度 ~	平成	33	年度
	事業	概要:	指定無 の大型	形民作 織機	谷文化則	オ「堺の て、後継	)手織	60歳以 緞通」 成を目	の保	存伝	承をよ	: りー	·層すす	めるた	きめ、月	月治後其	月~昭	
評	価指標	区分:	・保存	会会員	 員数の変	変化 (維	<u>-</u> 连持)		_			_		(具体	本的な打	指標は2	マのと	おり)
具	体的な	指標:	緞通の	技術耳	反得をえ	希望する	保存	会入会	者の	数								
	目	標値:	平成	28	年度			0	(人)		⇒ :	平成	33	年度		5		(人)
	進捗	状況:					各	·年度、	状沂	ն值、	目標に	こ対す	る達成	本				
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
		(人)			(人)			(人)				(人)			(人)			(人)
I	_	_					_			_	_			_	_			

事業⑩: 開口神社八朔祭伝統文化後継者養成事業 実施団体: 開口神社八朔祭伝統文化保存編員会 事業期間: 平成 29 年度 ~ 平成 29 年度 ~ 平成 事業概要: 本事業を通して堺旧市内に位置し伝統ある開口神社で行われる八朔祭並びにふとん太値を次世代の後継者となる若年層の会員に講習会を開催し、祭礼の興味や関心を高め成するとともに新規参入者を増やす。さらに伝統文化継承の意識が高まり、あわせて代を超えた連携がすすみ、歴史を見直す機会とする。	33 年度 鼓の歴史価 後継者を育 各地区の世 のとおり)				
事業概要:       本事業を通して堺旧市内に位置し伝統ある開口神社で行われる八朔祭並びにふとん太値を次世代の後継者となる若年層の会員に講習会を開催し、祭礼の興味や関心を高め成するとともに新規参入者を増やす。さらに伝統文化継承の意識が高まり、あわせて代を超えた連携がすすみ、歴史を見直す機会とする。         評価指標区分:       ・保存会への新規入会者数       (具体的な指標は次見体的な指標:         具体的な指標:       開口神社八朔祭伝統文化保存継承実行委員会新規参入者の人数         目標値:       平成 28 年度       0 (人) ⇒ 平成 33 年度 60         進捗状況:       各年度、状況値、目標に対する達成率         平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成	鼓の歴史価 後継者を育 各地区の世 のとおり)				
事業概要:       値を次世代の後継者となる若年層の会員に講習会を開催し、祭礼の興味や関心を高め成するとともに新規参入者を増やす。さらに伝統文化継承の意識が高まり、あわせて代を超えた連携がすすみ、歴史を見直す機会とする。         評価指標区分: ・保存会への新規入会者数       (具体的な指標は次見体的な指標は次別では、関口神社八朔祭伝統文化保存継承実行委員会新規参入者の人数         目標値: 平成 28 年度 の (人) ⇒ 平成 33 年度 60         進捗状況:       各年度、状況値、目標に対する達成率         平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成	後継者を育各地区の世のとおり) (人)				
具体的な指標:       開口神社八朔祭伝統文化保存継承実行委員会新規参入者の人数         目標値:       平成 28 年度       0 (人) ⇒ 平成 33 年度       60         進捗状況:       各年度、状況値、目標に対する達成率         平成 29 年度       平成 30 年度       平成 31 年度       平成 32 年度       平成 33 年度       平成	(人)				
目標値:     平成     28     年度     0 (人)     → 平成     33     年度     60       進捗状況:     各年度、状況値、目標に対する達成率       平成     29     年度     平成     30     年度     平成     31     年度     平成     32     年度     平成     33     年度     平成					
進捗状況:     各年度、状況値、目標に対する達成率       平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成					
平成     29     年度     平成     30     年度     平成     31     年度     平成     32     年度     平成     33     年度     平成	. <b></b>				
	<b>-</b> -				
(A) (A) (A) (A)	34 年度				
	(人)				
事業⑪: 国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷の 実施団体: 堺こおどり保存会					
事業区分:       用具等整備       事業期間:       平成 23 年度 ~ 平成	33 年度				
国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」の保存伝承をより一層すす 事業概要: 長年の使用により傷みが激しく不足している外踊り用一文字笠及び頭台の新調、音頭 さ笠及び外踊り用履物の新調をおこなう。					
評価指標区分: ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次	のとおり)				
具体的な指標: こおどりの奉納の行事に参加した住民数					
目標値: 平成 28 年度 850 (人) ⇒ 平成 33 年度 1,000	(人)				
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成	34 年度				
(A) (A) (A) (A)	(人)				
事業: 部 に おお に お に お に お に は か に か に か に か に か に か に か に か に か に					
事業区分:     用具等整備     事業期間:     平成 23 年度 ~ 平成	33 年度				
船待神社の例大祭で奉納されている「船待神社神楽子供獅子踊り」を伝承していくた   事業概要: 不足しているお囃子用衣装・子供獅子頭・踊り手の手甲について、過去から継承され					
事業 <b>似安</b> : 不足しているお囃子用な袋・子供御子頭・踊り子の子中について、過去がら経承され に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。	(具体的な指標は次のとおり)				
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。	のとおり)				
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。	のとおり)				
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。 <b>評価指標区分</b> : ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次	<b>のとおり</b> ) (人)				
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。  評価指標区分: ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次)  具体的な指標: 船待神社例大祭に参加した住民数					
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。 評価指標区分: ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次 具体的な指標: 船待神社例大祭に参加した住民数 目標値: 平成 28 年度 650 (人) ⇒ 平成 33 年度 700					
に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。  評価指標区分: ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次 具体的な指標: 船待神社例大祭に参加した住民数  目標値: 平成 28 年度 650 (人) ⇒ 平成 33 年度 700  進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率	(人)				

事業	<b>13</b> :	美多彌	神社流	鏑馬	用具等	整備事業	É			実	施団体	5:	<b>美多彌神</b>	社流鋪	馬保存	会			
	事業区	区分:	用具等	整備						事業期間: 平成 25 年度 ~ 平成 33 :							年度		
	事業概	既要:											い流鏑馬 こない。						
評価	指標፟፟፟፟	⊠分:	• 祭礼	行事~	への参加	叩住民数	¢							(具体的な指標は次のとおり)					
具体	的な指	旨標:	流鏑馬	行事	への参加	叩住民数	1住民数												
	目標	票値:	平成	28	年度		1,	000	(人)	)	⇒	平成	<b>t</b> 33	年度	3	3, 000		(人)	
	進捗も	犬況:					各	·年度、	状涉	记值、	目標	に対	する達成	文率					
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度	
		(人)			(人)			(人)				(人)	)		(人)			(人)	
											月	      日神社	八船夕	公伝統立	· ルセ.ち	***	宝行禾		
事業	<b>(14)</b> :	開口神	社八朔	祭保	存伝承月	月具等團	修備事	業		実	施団体		     会	/ \		.16体付	· 水区/子(:	大门安	
	事業区	☑分:	用具等	用具等整備 <b>事業期間</b> : 平原											度 ~	平成	33	年度	
	事業概	既要:	八朔祭で使用する用具が経年劣化で傷みが顕著なふとん太鼓の房・幕等を修理、新調し、今後も 正確に伝承し存続させる。																
評価	評価指標区分: ・祭礼行事への参加住民数													(具体	本的な扌	指標は2	次のと	おり)	
具体	的な指	旨標:	八朔祭	での	参加住民	民数													
	目標	票値:	平成	28	年度		2,	000	(人)	)	⇒	平成	<b>ኒ</b> 33	年度	4	, 000		(人)	
	進捗も	犬況 :					各	·年度、	状況値、目標に対する達成率										
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度	
		(人)			(人)			(人)				(人	)		(人)			(人)	
事業 ———	<b>(15)</b> :				化保存的	云承用具	具等整	備事業		- 11	施団体		<b>津</b> 久野地	域伝統	文化保	:存継承	実行:	<b>委員会</b>	
	事業区	☑分:	用具等		· [ /=: ] . A	~~ <del>~</del>	n -	7 0 /2	@ [II]		業期間		. ,,,		度 ~		33	年度	
	事業概	既要:	全な曳	行に	支障をき	きたすた	_め外	部有機	者の	)指導	掌のも	と過	地区の地 去からの を図る。						
評価	i指標区	区分:	・祭礼	行事	への参加	叩住民数	Þ							(具体	本的な打	旨標は炎	々のと	おり)	
具体	的な排	旨標:	踞尾八	幡神神	生例大约	条(だん	しじり	祭) へ	の参	かれる	皆数								
	目標	票値:	平成	28	年度		1,	200	(人)	)	⇒	平成	<b>ኒ</b> 33	年度	2	2, 000		(人)	
	進捗物	犬況:					各	·年度、	状涉	记值、	目標	に対	する達成	文率					
平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平	成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度	
		(人)			(人)			(人)				(人)	)		(人)			(人)	